

令和4年度 放課後等デイサービス自己評価表

令和4年度に実施させていただきました利用者アンケートをもとに、事業所内でシェアし、評価・改善計画を公表させていただきます。【有効回答数：39世帯（回収率76.4%）】

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	自己評価・改善計画
環境 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	37	2	0	県の基準を満たす十分なスペースを確保しております。また活動内容や対象年齢に応じて屋内外の両方を活用し対応しております。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	36	3	0	週1～2度の職員会議を通して、利用者や指導方法等の共有を行なっております。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	13	1	事業所の設備等は基準を満たしておりますが、マンション共有部分など配慮が難しい場所もあるため、今後管理会社と連携を取りながら対応してまいります。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	35	3	0	個別支援計画を年2回更新しながら、面談などを通して利用者の方のニーズを計画に反映しております。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	38	1	0	週に1度の利用者が多い中で、しっかりと目的を持たせながら、楽しく活動できるプログラムを立案しております。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	19	6	新型コロナウイルスへの配慮をしながらの活動となり、思うような地域交流が出来ておりませんが、感染対策等徹底しながら、地域交流の場を設けてまいります。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38	1	0	利用契約時や面談時には出来る限り、疑問やニーズに答えられるように努めております。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	36	3	0	電話連絡や面談時の相談に対して、プログラムに反映させたり、事業所内での様子をメールや電話、活動の様子はSNSなどで共有しております。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行なわれているか	38	1	0	年に2回面談を行ないながら、電話やメールなどいつでもご連絡していただける環境を整えております。職員間で児童の情報共有を常に行い適切な助言が行えるよう今後とも努めて参ります。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	23	11	新型コロナウイルスへの配慮から、大勢の方が集まる会の開催はできておりませんが、今後は感染対策を徹底しながら交流の場を設けて参ります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	8	0	「苦情がない」という回答も複数ありました。苦情窓口の周知徹底と迅速な対応を今後も心がけて参ります。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	37	2	0	電話連絡以外にメール連絡なども導入させていただいております。今後新たなシステムを導入し、より密に保護者と情報交換ができるよう努めて参ります。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	34	4	0	ホームページやSNSなどで当事業所の活動をお知らせしております。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	36	2	0	県の指導の通り、個人情報の取り扱いには配慮して参ります。
非常時の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	33	4	0	マニュアル等は、作成し職員へ周知徹底しております。保護者の方へも面談時に詳しくご説明致します。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練、救出、その他必要な訓練が行なわれているか	29	9	0	定期的に訓練を行なっておりますが、保護者の方への発信が十分に出来ていないため、ホームページやSNSなどを活用しお知らせ致します。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	38	1	0	小集団を活かした療育活動が主となりますので、小集団に馴染めないお子様のフォローも十分に行なっていくことで、充実した療育に繋がってまいります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	38	1	0	当事業の活動内容を理解して頂くためにも、日頃の保護者連携は大切だと感じておりますので、引き続き支援内容等の情報シェアに努めて参ります。
総括		昨年度に引き続き令和4年度も、当事業所の療育を必要とされている方々に感謝申し上げます。当事業所の強みは高い専門性と職員の指導力、対応力だと考えておりますので、研修制度や職員間の連携を充実させ、より良いサービスを提供できるよう努めてまいります。				